

# 高岡ロータリークラブ

会長／大谷 嘉一 幹事／中川 潔



2024/4/18

No.39

世界に希望を生み出そう

例会日：木曜日 12:30~13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 杉林 会場監督 点鐘 大谷 会長

ロータリーの目的／四つのテスト

ゲスト

◆射水神社 宮司 炭谷 淳様

会長挨拶／報告

◆誕生祝 次週は例会取消のため併せてお祝いします。

平瀬 裕章 さん (4/20・57才)

松原 吉隆 さん (4/21・77才)

竹中 伸行 さん (4/24・61才)

◆古城公園外灯寄付 賞状披露

幹事報告

◆配布／卓上にロータリーの友 4月号

出席袋に瑞龍寺 春のライトアップと門前市の前売り券

◆本日 13:30~⇒理事会 (桐の間)

◆4/21 (日) ⇒地区研修・協議会 (新川文化ホール)

【全体会議】13:00~17:45

◆次週 4/25 例会⇒職場例会

委員会報告

◆SAA…テーブルマスター選出依頼

◆雑誌…ロータリーの友 4月号紹介 (牧野会員)

◆石崎会員…瑞龍寺ライトアップについて

< ニコニコBOX 9件 26,000 >

大谷会長／射水神社 宮司 炭谷淳様、本日は高岡 RC によろこそ。射水神社は明治 8 年、1875 年に二上山から高岡城本丸跡に遷座され、今日に至っていると伺っています。卓話よろしくお祈いします。

菅野副会長／炭谷宮司、本日の卓話よろしくお祈い致します。

中川幹事／炭谷様、本日の卓話よろしくお祈いします。松原筆頭理事／誕生祝ありがとうございます。本日の欠席お詫びいたします。

藤田君／射水神社、宮司 炭谷様、よろこそ高岡 RC にお越しいただきました。御神鏡製作の折大変御世話になりました。本日卓話楽しみにしております。感謝

高木君／炭谷宮司、よろこそ高岡 RC へお越しくださいました。心より歓迎申し上げます。

山岡君／炭谷宮司、本日の卓話よろしくお祈いします。

チャーターナイト多数ご参加ありがとうございました。

多田君／入院しており、リハビリ中です。頑張ります！  
竹中君／誕生祝ありがとうございました。



## プログラム…卓話

『 射水神社式年大祭の歩み 』

射水神社 宮司 炭谷 淳 様



射水神社は、二上の地から御遷座されてより、令和 7 年に 150 年の節目を迎えます。これまでも 10 年毎の式年大祭では、元宮である二上射水神社との地縁を結ぶ「御神幸」を最重義として、厳粛に斎行してきました。

創建は、奈良時代以前とされ、御祭神「二上神」は、二上山を御神体とし、太古より二上山麓に鎮座されました。標高 274m ですが、その山容はたいへん秀麗で、古来より「神宿る山」と仰がれました。

越中国守であった万葉歌人・大伴家持卿も、二上山をこよなく愛し、「神ゆえに貴いのか、山が立派だから常に見たく思うのだろう」と、長歌「二上山の賦」で、神の山と褒め称え、仰ぎ詠んでいます。

中世以降は、神仏混淆により、「二上山大権現養老寺」となります。二上山全体を境内とする神域は広大で、越中全土の各戸より初穂米一升二合奉納の制によって盛大を極めました。しかし、幾度の兵火で社殿が焼失、縁起も散失しました。

江戸時代に入り、加賀藩の祈禱所となって復興。慶

長 15 年 (1610)、加賀藩初代藩主前田利長公より社地の寄進があり、保護を受けました。同時に戦国時代に絶えていた初穂米奉納の制を復活され、明治 3 年まで続きました。

明治元年、神仏分離令が出されて以降は、再び射水神社と改称。明治 4 年、国幣中社に列せられ、同 8 年 9 月 16 日、前田利長公の所縁の高岡城本丸跡の現在地に御遷座されました。

現在、二上射水神社は、古代信仰を今に伝える築山行事 (県指定無形民俗文化財)、平安時代中期作の木造男神坐像 (国指定重要文化財) を守り続け、射水神社元宮として、今日も篤い信仰を集めています。式年大祭最重儀の「御神幸」が初めて行われたのは、明治 35 年です。公文書に「旧社地へ神幸相成候者、氏子モ歓迎シ奉り、大二神慮二叶ヒ、永ク神人一和ノ基ヲ啓キ」と記され、当日の様子は、騎馬の知事・宮司等を始め、腕車 80 輛、総員幾百人とあり、華麗雄大、且つ大規模な御神幸であったことが窺えます。

戦後、国家管理を外れた神社は衰頹しましたが、元内務官僚・参議院議員の舘哲二氏が奉賛会組織を立ち上げられ、高辻武邦富山県知事を総裁、堀健治高岡市長を副総裁とし、自らは復興活動の先頭に立てるように奉賛会長に就任。昭和 29 年、混迷する時局のため途絶えていた古式の神幸祭を再興、遷座八十年祭を斎行されました。以後、式年大祭は、「二上神」と地域の人々が心通わせ、国家の繁栄、地域の安寧を祈り、盛大に斎行されてきました。

令和 7 年の『御遷座百五十年祭』は、射水神社と、元宮・二上射水神社が車の両輪の如く、あらためて悠久の歴史を共有しながら、高岡の礎を築かれた大伴家持卿、前田利長公に親しみと敬愛を持ち、さらには高岡の発展に尽くされた多くの先人たちに感謝の祈りを捧げる祭りとし、高岡の活性・発展に繋げて参りたいと存じます。

皆様には、何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。